

令和３年度 第１回 東京・神奈川地区５国立大学法人
公共工事入札監視委員会議事概要

開催日及び場所	令和３年１１月１５日（月） １４：００～１６：００ オンライン会議	
委 員	委員長 林 静雄（大学名誉教授） 委 員 清水 光（弁護士） 委 員 竹内 啓博（公認会計士）	
審議対象期間	令和２年７月１日～令和３年６月３０日	
抽 出 案 件（合計）	５件	（備考） 資料７ 審議案件一覧表に 基づき、各大学の担当者か ら説明を行い、質問等への 回答を行った。
建設工事（小計）	４件	
一般競争入札 （政府調達に関する協定対象工事）	０件	
一般競争入札 （上記工事を除く）	４件	
工事希望型競争入札	０件	
通常指名競争入札	０件	
随意契約	０件	
設計・コンサルティング業務（小計）	１件	
簡易公募型プロポーザル方式（拡大）	０件	
一般競争入札	１件	
随意契約	０件	
委員会からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回 答
<p>議事１．東京・神奈川地区５国立大学法人における発注状況等（R2. 7. 1～R3. 6. 30）</p> <p>①東京・神奈川地区５国立大学法人において発注した建設工事について</p> <p>（事務担当より説明）</p> <p>・ 特になし</p> <p>②東京・神奈川地区５国立大学法人において発注した設計・コンサルティング業務について</p> <p>（事務担当より説明）</p> <p>・ 特になし</p> <p>③報告遅延について</p> <p>（事務担当より説明）</p> <p>・ 特になし</p> <p>④指名停止等の措置状況について</p> <p>（事務担当より説明）</p> <p>・ 特になし</p> <p>議事２．個別審査</p> <p>①審議対象工事及び設計・コンサルティング業務の抽出結果について</p> <p>（事務担当より説明）</p> <p>・ 特になし</p>	<p>・ 特になし</p> <p>・ 特になし</p> <p>・ 特になし</p> <p>・ 特になし</p> <p>・ 特になし</p> <p>・ 特になし</p>

意見・質問	回 答
②建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議について	
1) 一般競争入札方式（最低価格落札方式） 【東京医科歯科大学（湯島）7号館外壁改修工事】	
<p>・低入札調査の結果、積算に過失があった場合、辞退以外にも失格など他の取扱が決まっているのか。</p> <p>・辞退者が多かったことについてどのように分析しているのか。次回以降の対処は。</p> <p>・大学の休みに合わせたため、この時期の発注になった等の理由はあるのか。</p> <p>・低入札になった理由をどう分析しているか。</p> <p>・落札業者は初めての契約業者か。工事は特段問題なく完成したのか。</p>	<p>・失格という取扱は設けていない。</p> <p>・辞退者から聞き取りを行い、ほとんどが配置技術者の確保ができなかったという理由だった。発注時期が重要と考え早期発注に努めた。</p> <p>・校舎の使用があり、工事は夏休み以降という制約を受けていたためにこの時期になった。</p> <p>・市場単価を採用した単価についても数量によっては査定することも可能と考えられる。</p> <p>・初めての業者であり、工事は問題なく完成した。</p>
2) 一般競争入札方式（総合評価落札方式（実績評価型）） 【東京海洋大学（吉田）基幹整備（給水設備等）改修機械設備工事】	
<p>・地域要件拡大を考えているということだが、どう広げるのか。</p> <p>・地域要件を設けることについて法律上の根拠はあるのか。</p> <p>・都道府県ではなく国の組織の事業でも地場に限るべきなのか、法律上求められていない場合に、地域要件で参加を制限するのが公平なのか、ということは一度検討する方がいいのかもしれない。</p> <p>・今回東京を入れなかった理由はなぜか。工事規模が大きく地元では対応できる会社が少ない事の予測もできたと思うが、どのように分析しているか。</p>	<p>・東京を含めることを考えている。</p> <p>・法的根拠はないと思っているが、文部科学省の方針等に倣い適宜設定していくことと考えている。</p> <p>・遠隔の業者の場合、緊急時の対応に不安がある。文部科学省全体の方針を見ながら対応していく。</p> <p>・給水、土木などは地元でも実績があるものと考えていた。今回の結果を受けて次回から考慮する。</p>
3) 一般競争入札方式（最低価格落札方式） 【お茶の水女子大学（大塚1）環境整備（中高木剪定）】	
<p>・剪定作業は、毎年又は隔年なのか。類似した環境整備の実施頻度、実施業者、予算規模はどの程度なのか。</p> <p>・スポット契約は必要に応じて実施するため、金額が安くなる気もするが、今回の「環境整備」とは依頼内容が違うのか。</p>	<p>・これまではスポット契約で行っており、入札による契約での長期間業務の委託は初めてである。昨年度実績は約15,000千円程度である。</p> <p>・支障となる樹木の場所、枝の把握が出来たため、スポットよりまとめて依頼した方が安いという考えにより今回競争入札に掛けた。</p>
<p>・監視カメラの周り以外の部分も含めて構内全体の業務依頼したということか。</p>	<p>・5年ぶりの実施時期であった高木強剪定を含めた。</p>

意見・質問	回 答
<p>・ 予定価格よりも大幅に低額でも実施可能な理由についてどのように考えているか。</p> <p>・ 予定価格作成のための見積徴収先に落札業者は入っているのか。</p> <p>・ 少なくとも3者以上が最低価格よりも低く札入れしている。今後の予定価格作成についてどう考えているのか。</p> <p>・ 今後、入札参加者を多くするための参考として、今回入札者が多かったのは発注時期（5月）のためなのか、どのような理由だと分析しているか。</p> <p>・ 数か月間の工期が断続的にある内容ということか。</p> <p>・ 施工実績を学校施設や公共施設に限った理由は、そのような事例が多いという事なのか。</p>	<p>・ 剪定業務は人の手間が主となる。所有の機械等に対応できる業者であったため価格が低かったと考える。</p> <p>・ 落札した業者からは、事前に見積りは取っていない。</p> <p>・ 今回の事例を参考に査定率を考慮する。</p> <p>・ 今回契約期間は長いが連日の作業でなく時期を限って指定がされている内容なので応札しやすかったのではないか。</p> <p>・ そのとおり。</p> <p>・ そのとおり。児童・生徒の安全のためである。</p>
<p>4）一般競争入札方式（最低価格落札方式） 【横浜国立大学（常盤台）基幹整備（実験系排水）工事】</p>	
<p>・ 1者応札で、応募も2者のみであるが、それについて競争が働くよう、興味を持たれるようにするためにどう分析しているのか。</p> <p>・ 全国的な事業集中は令和2年度の特徴なのか。それとも毎年度後半から年度末にこのような工事が増えるということか。</p> <p>・ 排水管工事を複数年に分割し、今回は3年目ということか。</p> <p>・ 過去の工事実施について、同じ業者か。</p> <p>・ 今回の辞退業者は第1期の業者か。</p> <p>・ 生活系排水と実験系排水で特性の違いはあるのか。</p> <p>・ 辞退業者の辞退理由は。</p> <p>・ 予定価格の算定はどのような方法か。落札率が高くなる傾向にある工事なのか。</p>	<p>・ 全国的にインフラ工事の発注が集中したと思われる。早期発注し、資格要件も土木、建築、管工事と広げ、施工実績の規模も大幅に下げたのだが、今後は、更に早期発注に努めてまいりたい。</p> <p>・ 国土強靱化3カ年緊急対策期間中だったので、インフラ予算が重点化された時期であった。</p> <p>・ そのとおり。生活排水管は第1・2期工事で、今回は実験系排水管の第3期工事である。</p> <p>・ 第1期は別の業者、第2期と第3期は同じ業者。</p> <p>・ 違う。</p> <p>・ 特にない。配管ルートの違いのみである。</p> <p>・ 配置予定技術者が他の工事への配置が決まったため。</p> <p>・ 国の土木標準積上単価と見積りにより算定した。落札率は高い傾向となった。</p>
<p>5）一般競争入札方式（最低価格落札方式） 【お茶の水女子大学 理学部1号館（2期）改修（設備）設計業務】</p>	
<p>・ 設計業務で地域要件をいれる理由は。</p> <p>・ 低入札価格調査の実施概要の「その価格で入札した理由」に記載のある別紙の添付がなく、その内容を説明してください。</p>	<p>・ 設計のための現場確認、教員へのヒアリング等の機会があるため設定していると思われる。</p> <p>・ ①仕様書等の熟読、積算の結果、当該金額で十分利益が出るものと判断した。②本学において実績をもつという強い意志を持って応札した。③国立大学法人発注の建築設計業務の実績を中心に展開している。④これまでの経験により品質確保、納期の厳守を徹底に努める。といった理由が提出された。</p>

